

食品製造・小売



「のれんは、革新からしか生まれない」
令和元年（2019年）創業70年を機に、
数値で語れる組織を目指した老舗企業
の取り組み

池田食品株式会社

- 所在地：札幌市白石区中央1条3丁目32号
- 代表者：代表取締役 池田 光司
- 創業：1948年
- 従業員数：73名（うち正社員34名）
- 事業内容：豆菓子・ナッツ菓子、
ポーロ菓子等の製造・直営店販売
- URL：<https://ikeda-c.co.jp/>



1948年に乾物商として創業した池田食品は創業73年を迎え、北海道内では食品製造業の老舗である。1997年に本社直営店をオープンし、その後順調に直営店を増やすとともに、並行して自社のECサイトを運営するなど、製造のみならず販売にも力を入れてきたが、社内のシステム化の遅れから把握

すべき数値がタイムリーに把握できないなどの課題を抱えていた。令和元年（2019年）に創業70周年を迎え会社方針を新たに策定。「数値で語れる組織」を目指して、積極的にDXに取り組んでいる。

ビジネス上の 「課題」

- ・データの転記が多く、ダブルチェックなどの非効率な業務を数多く実施
- ・現場に行かないと在庫が判らない
- ・資材や原料の発注は属人的運用

「数値で語れる組織」を 目指してシステム構築を決意

「メーカーなのに把握すべき数値を把握していない事態」から脱却

池田食品では、2010年ころにイントラネットを構築し販売管理システムを導入したが、売上データが自由に見られない、出力はすべて「紙」という状況から、一歩進めてEXCELを駆使した売上分析を行ってきた。Webサイトシステムをレンタルし、受注できる仕組みを構築したが、Webサイトから自動発行される受注メールを元に、注文票、納品書、請求書、工場指示、配送表と転記、そして転記ミスが無いかの

ダブルチェックを行うなど、非効率な業務が多かった。また、工場の在庫がどれくらいあるか現場まで行かないと判らない状況、包装資材や原材料の発注も勘で行うなど、属人的運用に委ねられており、全社的な課題となっていた。売上分析、理論在庫、製品仕様、原価計算などメーカーとして把握すべき数値を管理できていないことを直視し、基幹業務システム導入を決断した。

採用したITツール

1. 基幹業務システム

TABECLA 中堅・中小食品製造販売業向け「販売管理」と「生産管理」一体型のクラウドサービスシステム。札幌に本社を置くSCSK北海道（株）が提供するシステムで、現行業務整理サポートからユーザーと二人三脚でのシステム化サポートが可能。

2. BIツール*

Motion Board 「TABECLA」で蓄積したデータを的確に集約・可視化して、次のアクションにつなげる機能を備えたプラットフォームを提供。売上分析、請求・入金分析、仕入分

析の他、OLAP分析（自由分析）が可能。

※BIツール：ビジネスインテリジェンスツールの略で企業の持つ様々なデータを分析して経営や業務に役立てるためのソフトウェア

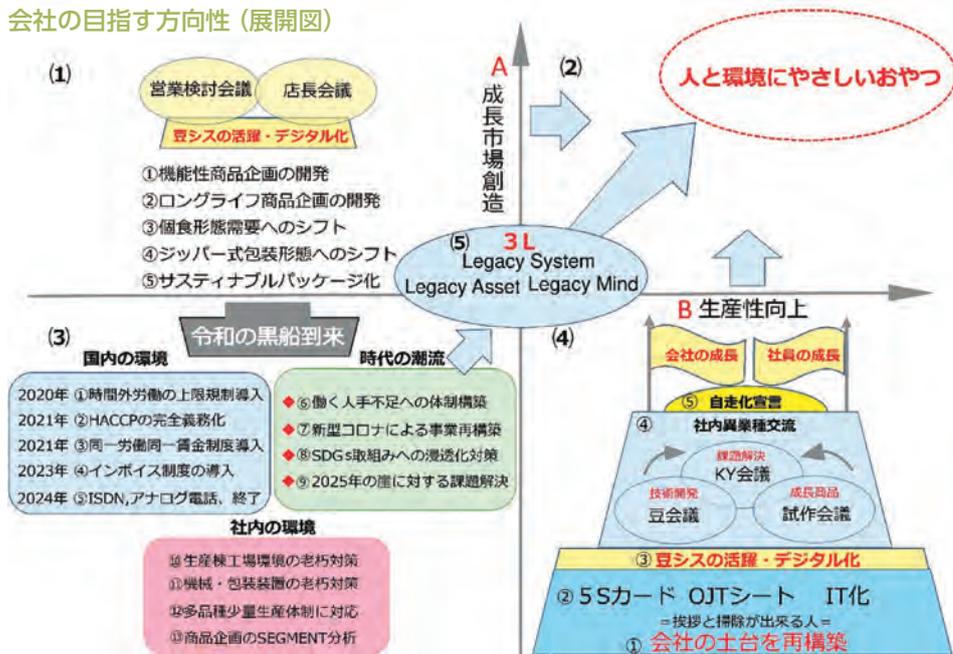
3. 情報共有化

LINE WORKS 業務コミュニケーションを手軽に実現するビジネス版LINE。使い慣れた使用感で、導入の敷居が低く、簡単にスタートできる。

4. 店舗売上情報

スマレジ クラウド型POSレジ。iPad、iPhoneアプリを使用するため、高価な専用機器の導入が不要。

会社の目指す方向性 (展開図)



(図2) 整理整頓された倉庫、Wi-Fi環境の敷設とデバイスの配置を拡大している

(図1) 会社の目指す方向性を整理し、成長市場創造と生産性向上に取り組んでいる

ビジネス上の「効果」

- ・売上集計に掛かる時間は、10分から1分未満へ
- ・在庫棚卸時間は、30分から5分へ
- ・販売量に応じた在庫コントロールにより、出荷期限切れ商品の発生を7割削減

本来必要な仕事に注力できる体制へ大きくシフト
在庫ロスの大幅削減を実現した

システム導入の負荷を抑え、クラウドサービスを使ったスモールスタート

システムの選定は、専門家であるITコーディネータの力を借りて1年がかりで検討し、現在導入のシステムに決定。中小企業にとって、サーバーのメンテナンスは難しく、保守と費用を考え、クラウドシステムを選択した。選定当時は、リモートワークが広まるとは考えていなかったが、コロナ感染症対策でリモートワーク中も、納品トラブルなどに対応できるのは想定外の効果であった。

「持ち出すときは伝票が必要」という文化が根付いておらず、

論理在庫と実在庫を合わせることに苦労したが、リアルタイムな入出庫により生産状況を把握、日次の理論在庫を構築することができるようになった。

これまで、各種分析にはEXCELを駆使していたが、BIツール導入により、売上分析、請求・入金分析、仕入分析が可能となり、会社全体で「同じ分析方法でデータを見る」ことを実現した。

導入企業の声

池田食品株式会社・浜塚製菓株式会社 池田 浩輔氏
品質保証室 室長/専務



入社当初から何もかもが足りない状態でしたが、タグを組んでいただけたベンダーやITコーディネータとの出会いがあって、ようやく一歩目を踏み出せたように思います。

ITは、何をどこまでどうやって「情報」として扱うか、今の会社とその未来を共に見通しながら、まさにモノづくりをする世界だと思っています。今回の基幹システムにしても、正解は会社さんによって無数にあると思います。より良い選択の一助となりますと幸いです。

すべきことは盛りだくさんですが、これからも一歩一歩、奮闘して参ります。

ITコーディネータから一言 佐々木 身智子

池田食品では、自社の課題解決に合ったクラウド型システムを組み合わせて構築しています。コロナ感染症拡大により、テレワークが急速に進みましたが、クラウドシステムであれば、リモートワークへの移行もスムーズです。